

事業名（支援員名）		内容	平成30年度		（参考）	
			配置人数 （人）	事業費 （千円）	29年度 配置人数	事業費 （千円）
（1）発達支援教育指導員等配置事業（教職員課）			208	164,429	203	157,214
小学校	スクールヘルパー	発達支援学級又は通常学級に在籍する学習上困難を示す児童に対して、学校生活の指導・補助を行う	91	67,748	91	65,564
	発達支援教育指導員	通常学級に在籍する発達障害の児童に対して、取り出し指導を行う	58	49,537	55	46,975
中学校	スクールヘルパー	発達支援学級又は通常学級に在籍する学習上困難を示す生徒に対して、学校生活の指導・補助を行う	30	22,375	30	21,615
	発達支援教育指導員	通常学級に在籍する発達障害の生徒に対して、取り出し指導を行う	29	24,769	27	23,060
（2）学校教育指導支援員配置事業（教職員課）			281	188,880	283	187,031
小学校	学校図書館補助員	学校図書をデータベース化し、学習情報センター・読書センターとしての機能の充実を図る	96	43,661	96	42,279
	小学校学習支援員	ティームティーチングを行い、学力向上を図る	101	84,262	105	86,878
	複式学級等指導支援員	教科指導を行い、複式学級の教育の充実を図る	13	15,538	11	13,147
	小学校指導支援員	指導上の諸問題により緊急対応を要する学校において、早期解決の支援・学校環境の確保を行う	2	2,412	2	2,412
中学校	学校図書館補助員	学校図書をデータベース化し、学習情報センター・読書センターとしての機能の充実を図る	48	21,831	48	21,139
	養護教諭補助員	生徒への健康管理・保健管理及び保健学習等について養護教諭の指導補助を行う	13	11,279	13	11,279
	中学校指導支援員	指導上の諸問題により緊急対応を要する学校において、早期解決の支援・学校環境の確保を行う	8	9,897	8	9,897
（3）不登校児支援推進事業（指導課）			15	13,170	2	1,556
中	校内適応指導教室支援員	集団への不適応や登校意欲はあるが学級に入れない生徒に対する適応指導、学習指導を行う	15	13,170	2	1,556
（4）理科支援員配置事業（指導課）			96	32,640	96	32,640
小	理科支援員	3～6年生の理科授業における観察・実験活動を支援する	96	32,640	96	32,640
（5）外国人子ども教育支援推進事業（指導課）			70	62,242	40	36,720
小中	就学サポーター	外国人児童生徒に対する適応指導、学習支援及び保護者との連絡調整（通訳・翻訳）を行う	30	22,447	40	36,720
小中	初期適応サポーター	日本語が分からず、日本の学校に不慣れな児童生徒に対して、母国語による生活適応指導や学校生活に必要な初期日本語指導等を行う	10	10,500	-	-
小中	教科指導員	外国人児童生徒等に対して、特別の教育課程を編成し、取り出しによる教科指導を行う	30	29,295	-	-
（6）市立幼稚園教育指導支援員配置事業（幼児教育・保育課）			164	122,632	156	112,080
幼稚園	キッズサポーター	障害児在籍：個々の成長に合わせてきめ細かな教育を行う	119	87,293	119	84,258
		外国人園児：日本人園児との集団生活のサポートと、その後の小学校就学に向けて支援する	19	13,937	19	13,453
		複式学級：個々の成長に合わせてきめ細かな教育を行う	8	5,868	5	3,540
		預かり保育：幼稚園教育を希望する保護者の子育て支援の充実を図る	18	15,534	13	10,829
合計			834	583,993	780	527,241